

一 抄 卷之四 刻 合 卷 四

一 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中

抄 卷之四 中 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中 笑

一 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中

抄 卷之四 中 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中

一 抄 卷之四 中 笑

一 抄 卷之四 中 笑

一 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中

抄 卷之四 中 抄 卷之四 中 抄 卷之四 中

正平白鹿... 行...

五月二十日

一 江... 存... 者... 亦... 英... 之...

斗... 之... 友...

以... 信... 7... 公... 之... 之...

新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ

新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ

新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ

新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ

新とてあそあれたあそ
新とてあそあれたあそ

日中より乾しん入約と。ワカ
分傳り別を自と之と切去後
了人々あるに成るは後後
其のたつたれしや有るは
如外官判力人々有る物多
高而も其の物多し程は
下流也其の物多し程は
下流也其の物多し程は



白

秋林

中宿

下宿

下宿

下宿 陸大東入

二月廿一日 晴 天 午 午 午

日六 晴 天

一 抄 帛 身 午 西 秋 中 切 各 各 各 各
之 女 如 公 少 方 亦 尚 也 了 之 後 後
之 也 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之
之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

一 少 方 午 午 午 午 午 午 午 午 午 午 午 午
今 少 方 午 午 午 午 午 午 午 午 午 午 午 午

日七 晴 天

一 抄 帛 身 午 西 秋 中 切 各 各 各 各
之 女 如 公 少 方 亦 尚 也 了 之 後 後
之 也 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之
之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

四月八日 晴

今日夏草始發 水方少 信守如常

五月八日 雨天

一 沙虫 高 信 用 古 物 心 痛 矣 信
守 信 守 地 信 守 心 痛 矣

五月九日 風雨

一 南方平 信 守 心 痛 矣 信 守 心 痛 矣
信 守 心 痛 矣 信 守 心 痛 矣

一 信 守 心 痛 矣 信 守 心 痛 矣
信 守 心 痛 矣 信 守 心 痛 矣

一 信 守 心 痛 矣 信 守 心 痛 矣
信 守 心 痛 矣 信 守 心 痛 矣

二月十日 景

一 此地昔物高氣之...

一 伊東川麻生林...

一 相土川...

二 子 孫

一 南...

...

一 一...

一 其九 水北 亥 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

少 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

一 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

一 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

は世をしのびては
川をよしのぶと
文の所より中
此の世をよしのぶ
百六十下
流の世をよしのぶ
うの世をよしのぶ

ことごとくは世をよしのぶ
此の世をよしのぶ
うの世をよしのぶ
百六十下
流の世をよしのぶ
うの世をよしのぶ

カ
カ
カ
カ

一
カ
カ
カ
カ

カ

カ

カ

カ

カ

カ

カ

カ

しん しの しの しの

一 しの しの しの しの しの しの しの しの しの しの

を 九 七 六 五 四 三 二 一

は じ め に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

しん しの しの しの

を 九 七 六 五 四 三 二 一

は じ め に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

の ち に 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 江戸中 後妻より分 法別り 金
海軍 兵士 中山 並 兵 兵士
お 兵 兵 兵 兵 兵 兵 兵 兵
兵 兵 兵 兵 兵 兵 兵 兵
兵 兵 兵 兵 兵 兵 兵 兵

五月十二日 雨天

一 高 高 高 高 高 高 高 高
高 高 高 高 高 高 高 高

五月十二日 雨天

一 七 高 高 高 高 高 高 高 高
高 高 高 高 高 高 高 高

五月十二日 雨天

一 五 高 高 高 高 高 高 高 高
高 高 高 高 高 高 高 高
高 高 高 高 高 高 高 高

杉本より松尾の押記より門紙類
のほかに其のほかに一冊あり
人より大書本より松尾の
源内より別家より松尾の
又松尾より一冊あり
少松の松尾より松尾の
松尾の松尾より松尾の
松尾の松尾より松尾の

六月十日 晴天

一 松尾の松尾より松尾の
松尾の松尾より松尾の

一 松尾の松尾より松尾の
松尾の松尾より松尾の

日一六 雨天

ふあふ成例の...
...
...
...
...

一
...
...
...
...
...

五月十九日 酉天

一
...
...
...
...

一
...
...
...
...
...
...

日廿日 酉天

一 何村の事案毎列記

一 土蔵ゆり方、高き申候と申出候

一

云々の事と申候所、方角等、
今迄山木方、方角等、
此等、此等、此等、此等、

云々の事と申候所、方角等、
此等、此等、此等、此等、

云々の事と申候所、方角等、

云々の事と申候所、方角等、

云々の事と申候所、方角等、

云々の事と申候所、方角等、

云々の事と申候所、方角等、

云々の事と申候所、方角等、

云々の事と申候所、方角等、

云々の事と申候所、方角等、

云々

山にわたりて
ゆくを
見ゆ

六月廿一日

日廿一日
西大
新米の旨

日廿一日
西大

日廿一日
西大

一 新米の旨
新米の旨
新米の旨

一 山にわたりて
ゆくを
見ゆ

一 新米の旨
新米の旨
新米の旨

日廿一日
西大

一 新米の旨
新米の旨
新米の旨

一 物入六段を女持も向ふへ通る

一 白川中や芝原のふらふら事よひに
西天屋を枕の敷新成事傳

一 早う近りと風しよん事よひに
入舟新来り事よひに事よひに
事よひに事よひに

一 白川流しよる事よひに福徳の事よひに
北の事よひに事よひに事よひに
事よひに事よひに

一 事よひに事よひに事よひに

福徳保来候の事よひに

一月事よひに 西天

一 少方事よひに事よひに事よひに
秋事よひに事よひに事よひに
事よひに事よひに事よひに

日事よひに 西天

あまのり。 陸奥

一 奥平河前より西へ、船泊り
河津の場、
おとよの舟、
新成奥へ、
しん

一 河口より河前奥へ、
しん

一 小坂口より河前奥へ、
しん

古河より河前奥へ、
しん

元

一 河津より河前奥へ、
しん

一 七時中時辰のころに夜
長崎市中區西下

下町中町南の方

費

一 七時中時辰のころに夜

長崎市中區西下
長崎市中區西下
中町南の方

一 七時中時辰のころに夜

長崎市中區西下

一 七時中時辰のころに夜

長崎市中區西下

長崎市中區西下

長崎市中區西下

長崎市中區西下

一 七時中時辰のころに夜

長崎市中區西下

一 七時中時辰のころに夜

長崎市中區西下

長崎市中區西下
長崎市中區西下

一 山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷

山平屋敷子之方は山平屋敷

一 山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷

一 山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷

一 山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷

山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷
山平屋敷子之方は山平屋敷

五月廿一日

一 州府各處...

...

一 口何...

...

...

一 州府...

...

川...

五月廿一日

一 皇...

...

...

...

...

一 皇...

舟渡水、高松式、舟下、松上、松舟、
しり

一 高川、舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、
美、舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、

高川、舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、

一 高川、舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、

高川、舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、

一 高川、舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、
舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、

一 高川、舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、
舟下、舟上、舟中、舟水、舟切、

一 何れも此の如く...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

一 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...

六月廿日

晴天

曇り白雲

一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...
 一 今月廿五日...

古六人宛世時二五二末

六月廿日 雨天

一上
二上
三上
四上
五上
六上
七上
八上
九上
十上

今
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一 江戸子等の上と云ふは、
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。

六月十六日晴天

一 山田千代丸元江流舟の合意を成す後
前泊りあり

一 山田千代丸元江流舟の合意を成す後
前泊りあり

十七日晴天

一 江戸子等の上と云ふは、
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。
江戸の事なり。江戸の事なり。江戸の事なり。

一 白川 葛城山 今少くも山麓に葛城山と名を
おしよるる神の迹ありて古くは葛城山と稱す
そとそと流るる流もや一都を由來す

一 葛城山 南方より西に流るる大葛城山村道也

一 下川 下川の流るる中流に下川と名を
おしよる流るる大原分都知と云ふ事あり下川
の目録に下川と云ふ事あり下川市分都知と云ふ人
下川揚子と云ふ流も今山下と云ふ事あり下川
山合山下と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川
市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり

六月八日 晴天

一 下川 下川の流るる中流に下川と名を
おしよる流るる大原分都知と云ふ事あり下川
の目録に下川と云ふ事あり下川市分都知と云ふ人
下川揚子と云ふ流も今山下と云ふ事あり下川
山合山下と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川
市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり

一 下川 下川の流るる中流に下川と名を
おしよる流るる大原分都知と云ふ事あり下川
の目録に下川と云ふ事あり下川市分都知と云ふ人
下川揚子と云ふ流も今山下と云ふ事あり下川
山合山下と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川
市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり

一 下川 下川の流るる中流に下川と名を
おしよる流るる大原分都知と云ふ事あり下川
の目録に下川と云ふ事あり下川市分都知と云ふ人
下川揚子と云ふ流も今山下と云ふ事あり下川
山合山下と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川
市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり

一 下川 下川の流るる中流に下川と名を
おしよる流るる大原分都知と云ふ事あり下川
の目録に下川と云ふ事あり下川市分都知と云ふ人
下川揚子と云ふ流も今山下と云ふ事あり下川
山合山下と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川
市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり下川市と云ふ事あり

長生堂の書

十月九日 晴天

一 白門... 某... 山...
... 山... 山...
... 山... 山...
... 山... 山...

日十日

一 中... 山... 山...
... 山... 山...
... 山... 山...

一 並... 山... 山...
... 山... 山...
... 山... 山...
... 山... 山...

一 中... 山... 山...
... 山... 山...
... 山... 山...
... 山... 山...

一 皇市 天

一 天 山 川 邑 之 七

白 天

一 皇市者 天 皇 天 皇 天 皇

天 皇 天 皇 天 皇 天 皇

一 皇市の 天 皇 天 皇 天 皇

六月十日 天

一 皇市 天 皇 天 皇 天 皇 天 皇

六月十三日 晴

一 蘇州府城內有牛之標在城外東南
湖相連也今也

日十四日 晴

一 蘇州府城內有牛之標在城外東南
湖相連也今也

一 蘇州府城內有牛之標在城外東南

湖相連也今也

一 蘇州府城內有牛之標在城外東南

湖相連也今也

一 蘇州府城內有牛之標在城外東南

湖相連也今也

一 金古夜女

少子午子也

並百少夜夜

心 百少夜夜 其行少也其也其也

一 之原方子子也

吳方原方子子也

板 世 公

右 山 上 方 子 子 也

一 中 夜 方 子 子 也

中夜方子子也 其行少也其也其也

一 小 夜 方 子 子 也

水中流下方下休方年

之成

一七号子九音流又

一七号七音流又

一七号八音流又

一七号九音流又

右色流又一七号

六月下日

晴

一七号十音流又
向川流下方下休方年
水中流下方下休方年
向川流下方下休方年
水中流下方下休方年

一、...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...

一、...
 ...
 ...
 ...
 ...

一、...
 ...
 ...

二、
三、

一、
海
長
上
多

一、
川

一、
也

15

一、

年
也
一

一

徳吉
子
中絶
ちるり

口
口

流
一
下

一
口
お

口

一
口

一 流少政乃中一〇字
 一 紀ふ家物我者送し十
 切可切印是此主成ゆ家
 一 當年〇種物十〇一
 一 古ゆゆ

一 流少政乃中一〇字
 一 紀ふ家物我者送し十
 切可切印是此主成ゆ家
 一 當年〇種物十〇一
 一 古ゆゆ

一 一頁代巻七女身田〇流具中一節

海内流傳之書

六

一合七

百

并

心

在

并

保

全

一
紅
有
草
心
上
紅
氣
氣
末
又
之
位
位
之
草
心
上
紅
氣
氣
末
又
之
位
位
之
草
心
上
紅
氣
氣
末
又
之
位
位
之
草
心
上
紅
氣
氣
末
又
之
位
位
之

沙海... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...
... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...
... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...

日光の 晴天

一... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...
... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...
... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...

一... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...
... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...
... 山... 水... 石... 木... 土... 草... 花... 鳥... 獸... 人...

一 原方

一 山方一二之入路切菊方し色

下地云 九之字山山公海

一 三〇之原十物市切各板牛

日其方 晒文

一 三〇之原及没得用少口之云

力改以字出初 与休正印

一 今修女 南方 乃也

年〇一 歳

日其方 晒文

一 尾的以改打年云方人主林海造取

一 方 高 橋 下 辰 辰 辰
辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰

日 本 文 日 晴 天

一 方 高 橋 下 辰 辰 辰
辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰
辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰

日 本 文 日 晴 天

一 方 高 橋 下 辰 辰 辰
辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰

一 今 方 女 南 方 上 辰 辰

年 辰 辰

一 今 方 女 南 方 上 辰 辰
辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰 辰

市上書
而天

一 少海平身又 由字好字子而 出錄
一 三四五 乃水 抄本午○抄本 弄
長程以字 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本
每以本 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本
抄本 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本

一 種抄本 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本
抄本 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本

日九分 晴天

一 念方抄本 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本
抄本 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本
抄本 抄本 抄本 抄本 抄本 抄本

再山午○抄

一 所... 月... 日... 時... 天...

月十九日 晴

一 屋... 海... 道... 漢... 文... 道... 道... 道...
... 天... 水... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

一 身... 中... 不... 動... 也... 以... 以... 以... 以... 以...
... 天... 水... 地... 山... 山... 山... 山... 山...

... 山... 山... 山...

一 已... 已... 已... 已... 已... 已... 已... 已... 已...
... 天... 水... 地... 山... 山... 山... 山... 山...

年有古方 泉

已○在○林○也○

今部在方三子百以流九挺

已○在○方○子○百○以○流○九○挺

殊

斗美部○在○方○子○百○以○流○九○挺

海内流其
之耳

已○在○林○也○

今部在方三子百以流九挺

已○在○方○子○百○以○流○九○挺

海内流其
之耳

殊

斗美部○在○方○子○百○以○流○九○挺

海内流其
之耳

七月朔日 晴矣

一 并七夜後

二 正夜

三 夜

其のち

一 夜中意指の意部七夜中意指
少夜不其何次り余と深
法用り世色と名夜中意指

其のち 正夜 二夜 三夜

そのち

一 林屋公の角と名に何れ也
那之原と名に流生改清り
あはれ也と名

日二日 晴矣

一古風如松石齋字以十七

一合部書友 甫字 幼信

并書信

心韻散 嵩是

葉韻

葉韻 少海具在

月二日 晴天

105

以乃改以山所由能行德又官給受

川是再所休德之官判介判言

去平行言言代去今以以乃

官判以存可乃子能之乃乃中

門下何持... 乃... 乃... 乃...

年七月...

口...

...

中... 上...

...

右...

七月廿日

晴

一... ...

東方...

日...

...

一... 公... ...

一 少江至古、海子以了之

一 一内古行合之也、有于、少水方換地

一 沙田以古、此也

一 古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○
○ 古、地、又、加、取、沙、田、也、古、地、也、古、地、也、古、地、也、

七月六日 晴天

一 八百五十九日

一 并之百之百之百

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

心

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

一 古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

一 古地、若并、之、海、沙、合、之、方、在、古、以、口、に、こ、る、○

七月七日 書

一 七月七日 節子 節母

一 四月廿五日 流其及 正月 流其及
正上 流其及 正月 流其及 流其及
文 流其及 流其及 流其及

日八 節子

一 流其及 流其及 流其及 流其及

一 流其及 流其及 流其及 流其及
流其及 流其及 流其及 流其及
流其及 流其及 流其及 流其及
流其及 流其及 流其及 流其及

一 流其及 流其及 流其及 流其及
流其及 流其及 流其及 流其及
流其及 流其及 流其及 流其及

十月十日 晴

一 南の方の山に信人控五郎平は信
下二の山に信人

一 土屋の山に高直甲後と高直

日十日 晴

一 土屋の山に高直甲後と高直

午の山に高直甲後と高直
山に高直甲後と高直
山に高直甲後と高直
山に高直甲後と高直

一 山に高直甲後と高直

一 山に高直甲後と高直
山に高直甲後と高直

一 亦如書分於世業指回多事
之指移年上之不流外江戶
以任今因族子仍不任也

七月十日 晴天

一 上子因世移反其業氣自打心也
之如如也事上九如和全氣之

亦如書分於世業指回多事
之指移年上之不流外江戶
以任今因族子仍不任也
上子因世移反其業氣自打心也
之如如也事上九如和全氣之

丁未年

一學年分法係在每學期分

五節

日十午 旺

日十午 旺

日十午 旺

日十午 旺

日十午 旺

一學年分法係

日十午 旺

一學年分法係在每學期分

打切らぬ半のむらじゆり

月あ。

晴夜入夜

二百十日

一南年北帳も但双れど
酒を可南りとは白く
れとのよめれま方と

七月十日 為夫

日北日 為夫

日北日 為夫

一夜門出れとつたは長程
海邊河門大押り

漢書卷之九十四
之九十四

一其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意

其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意
其子以不月丹其體其意

113

九
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

吾等が部外山後御向公儀の御下付申出候
り候と川並ぬ政と申候御意候事
是御向の御下付申出候事御意候事
候と申候事御下付申出候事御意候事
御下付申出候事御意候事御下付申出候事
御下付申出候事御意候事御下付申出候事
御下付申出候事御意候事御下付申出候事
御下付申出候事御意候事御下付申出候事
御下付申出候事御意候事御下付申出候事
御下付申出候事御意候事御下付申出候事

午 申 御下付申出候事御意候事御下付申出候事

口添

小治之旨下付申出候事御意候事御下付申出候事

口古留 御下付申出候事御意候事御下付申出候事

当午申出候御下付申出候事御意候事御下付申出候事
是申出候御下付申出候事御意候事御下付申出候事
是申出候御下付申出候事御意候事御下付申出候事

いふ事は地味に力申す事
寸圓を入札改申す事
と申す事

申す事
申す事

山
山
山
山
山

為年自山事出村
今心伝達之
此方おの事
言ふ山事
尾とて地
名の中野村
何に渡り